

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー【2017No.49】(HP 収載)

分類：CD

作曲家：ヴィヴァルディ

曲名：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ハ長調 RV 507 他

演奏：ジュリアーノ・カルミニョーラ／アマンディーヌ・ベイエ／リ・インコーニティ

発売：King International

No. : KKC5670

概要：

アマンディーヌ・ベイエとリ・インコーニティの演奏会に行き買い求めてきたものです。



ヴィヴァルディの2つのヴァイオリンのための協奏曲集で収録曲は以下のとおりです。

- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 ハ長調 RV 507
- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 変ロ長調 RV 529
- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 ハ長調 RV 510
- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 ハ長調 RV 505
- ・4人の協奏曲 ニ短調 RV 127
- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 変ロ長調 RV 527
- ・2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ長調 RV 513

ヴァイオリンはジュリアーノ・カルミニョーラとアマンディーヌ・ベイエの共演です。ネット上に見られた解説は次のとおりです。

「フランス・バロック・シーンをしなやかに彩るヴァイオリンのアマンディーヌ・ベイエ&リ・インコーニティ。最新盤は、カルミニョーラをゲストに迎えてのヴィヴァルディの協奏曲集です。カルミニョーラはヴェネツィア・バロックにもとりわけ深い思い入れのある、いわずとした名手。すべてのパッセージ、リズムが生き活きと輝き、物憂げな旋律の絡み合いの場面では、その美しい音色に心奪われる、至高のヴィヴァルディ

の世界が広がっています。

RV 507は2つのヴァイオリンのための協奏曲の初期作品（それまでもヴィヴァルディは2つのヴァイオリンが登場する協奏曲を書いてはいましたが、それらは合奏協奏曲のスタイルをとっていた）ですが、第1ヴァイオリンの方に、華やかなパッセージや曲のしめくりでも重要な役割を担わせるような書き方がされていますが、この録音では、随所でソリスト2人が奏でるなど、適宜手を加えながら、自由に演奏しています。また、ヴィヴァルディは、このRV 507を、当時のドイツ屈指の名ヴァイオリン奏者、ピゼンデルと共演。ピゼンデルは手稿譜に装飾音を書き入れており、この録音でも、その装飾音が採用されています。」

カルミニョーラを客演に迎えた演奏で、2016年2月最新録音盤でCDとは思えないほどの透明感に優れた録音です。カルミニョーラの技巧をベイエが受け止め、リ・インコーニティが支えるという構成で、是非とも生演奏を聴いてみたいものです。装飾音符の演奏も忠実に再現されています。